

日羽協試験方法	ダウン個数試験方法	JDFA-TM011 2018/11
---------	-----------	-----------------------

序文

羽毛原料のダウンの大きさを評価するため、一定質量あたりのダウンの個数を求める試験方法を定める。

引用資料：

JIS L 1903 羽毛試験方法
JIS L 0216 羽毛用語

1. 装置

- (1) 混合箱
- (2) 組成選別用キャビネット
- (3) ピンセット
- (4) 電子はかり（電子天びん） 0.2mg までひょう量できるもの。
- (5) ビーカー

2. 試料の準備

試験に用いる羽毛は、日羽協試験方法（JDFA-TM001 試験のためのサンプリング方法）によって採取し、均一に混合する。試料を標準状態の試験室で、空気が通過しやすく羽毛が飛散しないような容器に収納し、恒量になるまで放置する。

3. 試験試料の採取

2. で準備された試料から、0.2 g の試験試料 2 個を上層、中層、下層の各部分からランダムに採取する。もしくは JIS L 1903 組成混合率試験の 2 次選別（0.2 g × 2 個）で選別した後のダウンを使用する。

4. 試験手順

- (1) 原料からランダム採取した試料の場合は、0.2 g の試料をダウンとそれ以外の羽毛に選別し、ダウン全量の質量(W)を電子はかりで測定する。組成混合率の 2 次選別後のダウンの場合は、ダウン全量の質量(W)を電子はかりで測定する。
- (2) 質量を測定した全てのダウンの個数(N)を数える。この時、ダウンの定義は「JIS L 0216 羽毛用語 106 ダウン」に基づき、羽枝が 2 本のものも一つのダウンとして数える。

5. 試験結果

次の式によって 0.1 g あたりのダウン個数を求め、試験試料 2 個の平均値で表す（小数点以下 1 桁に丸める）。

$$\text{ダウン個数 (個/0.1 g)} = \frac{N}{W} \times 0.1$$

W : ダウンの質量 (g)

N : ダウンの個数 (個)

以上 (2018/Nov/26)